

平成26年度 事業計画及び予算

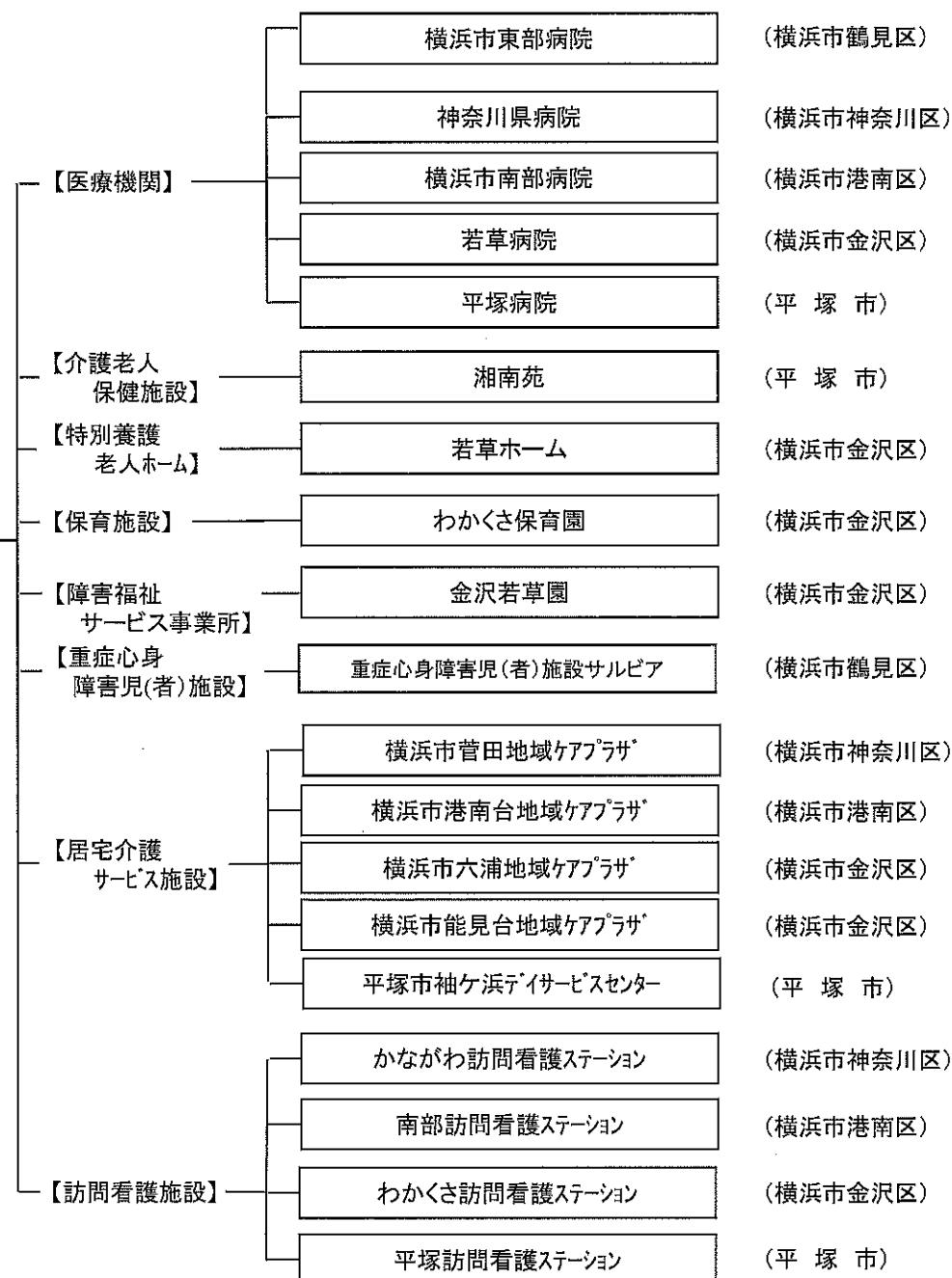
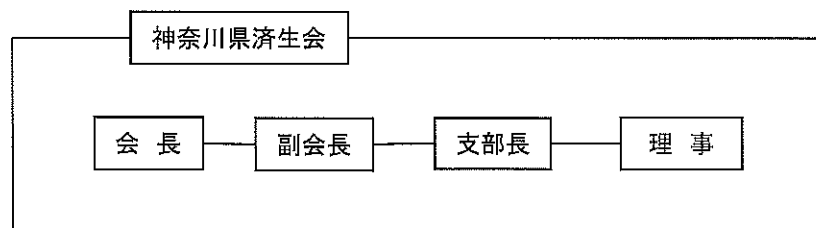
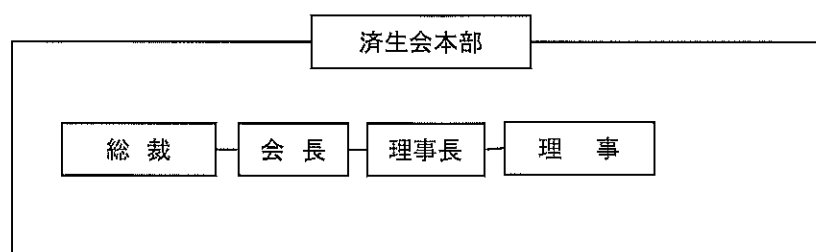
社会福祉法人 恩賜
財団 済生会支部神奈川県済生会

目 次

1. 神奈川県済生会施設概要	P.1～
2. 支部事業計画	P.6 ～
3. 支部事業予算	P.8～
4. 病院事業計画	P.10～
5. 病院施設整備計画	P.24～
6. 病院収支予算	P.25～
7. 福祉施設事業計画及び予算	P.27～
8. 居宅介護サービス施設事業計画及び予算	P.37～
9. 訪問看護施設事業計画及び予算	P.39～
10. 予算総括表	P.41

1.神奈川県済生会概要

済生会は、東京に本部、40都道府県に支部を設置し、全国で300余の施設を運営しており、神奈川県済生会は明治44年の済生会創立と同時に発足以来、医療・保健・福祉を通じて、神奈川県における社会福祉の増進に寄与している。



施設の概要

1. 医療機関

- | | | | |
|-------------|---------|--|-------------|
| (1) 横浜市東部病院 | 【所在地】 | 横浜市鶴見区下末吉3丁目6番1号 | 〈平成19年3月開設〉 |
| | 【病床数】 | 560床（重症心身障害児（者）施設サルビア44床含む） | |
| | 【入院基本料】 | 一般病棟入院基本料7対1入院基本料 | |
| | 【診療科目】 | 内科 消化器科 循環器科 呼吸器科 神経内科 小児科 精神科 外科 心臓血管外科
呼吸器外科 形成外科 脳神経外科 整形外科 リウマチ科 泌尿器科 産婦人科 皮膚科
眼科 耳鼻咽喉科 歯科口腔外科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科 救急科（24科） | |
| (2) 神奈川県病院 | 【所在地】 | 横浜市神奈川区富家町6番地6 | 〈大正2年9月開設〉 |
| | 【病床数】 | 187床 | |
| | 【入院基本料】 | 一般病棟入院基本料 10対1入院基本料 回復期リハビリテーション病棟入院料1 | |
| | 【診療科目】 | 内科 神経内科 外科 整形外科 リハビリテーション科 皮膚科 泌尿器科 眼科 歯科口腔外科（9科） | |
| (3) 横浜市南部病院 | 【所在地】 | 横浜市港南区港南台3丁目2番10号 | 〈昭和58年6月開設〉 |
| | 【病床数】 | 500床 | |
| | 【入院基本料】 | 一般病棟入院基本料7対1入院基本料 | |
| | 【診療科目】 | 総合内科 消化器内科 呼吸器内科 腎臓高血圧内科 糖尿病・内分泌内科 神経内科 血液内科
循環器内科 精神科 小児科 外科 消化器外科 整形外科 脳神経外科 心臓血管外科 皮膚科
泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科 歯科口腔外科 形成外科
緩和医療科 救急診療科（27科） | |
| (4) 若草病院 | 【所在地】 | 横浜市金沢区平潟町12番1号 | 〈昭和24年3月開設〉 |
| | 【病床数】 | 199床 | |
| | 【入院基本料】 | 一般病棟入院基本料10対1入院基本料・障害者施設等入院基本料13対1入院基本料
療養病棟入院基本料20対1入院基本料・回復期リハビリテーション病棟入院料1 | |
| | 【診療科目】 | 内科 神経内科 循環器内科 外科 整形外科 肛門外科 皮膚科 泌尿器科 脳神経外科 精神科
婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 麻酔科（15科） | |

(5) 平塚病院	【所在地】	平塚市立野町37番地1号	〈昭和9年4月開設〉
	【病床数】	114床	
	【入院基本料】	一般病棟入院基本料10対1入院基本料	
	【診療科目】	内科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 脳神経外科 整形外科 形成外科 皮膚科 外科 放射線科 リハビリテーション科 歯科口腔外科 泌尿器科 リウマチ科 神経内科 消化器外科 (16科)	
2. 介護老人保健施設 湘南苑	【所在地】	平塚市立野町37番地1号	〈平成2年6月開設〉
	【定員】	入所 54名、通所リハビリテーション 30名	
3. 特別養護老人ホーム 若草ホーム	【所在地】	横浜市金沢区平潟町12番1号	〈昭和55年4月開設〉
	【定員】	入所 70名、短期入所 7名、デイサービス 15名、居宅介護支援	
4. 保育施設 わかさ保育園	【所在地】	横浜市金沢区平潟町12番1号	〈昭和51年8月開設〉
	【定員】	60名	
5. 障害福祉サービス事業所 金沢若草園	【所在地】	横浜市金沢区平潟町12番2号	〈昭和40年4月開設〉
	【定員】	通所(多機能型)60名、 共同生活介護・共同生活援助事業6名、 短期入所6名	
6. 重症心身障害児(者)施設 サルビア	【所在地】	横浜市鶴見区下末吉3丁目6番1号	〈平成19年4月開設〉
	【定員】	入所40名 (医療型障害児入所施設・療養介護事業所)、短期入所4名	

7. 居宅介護サービス施設

- | | | |
|----------------------|---|-------------|
| (1) 横浜市菅田地域ケアプラザ | 【所在地】 横浜市神奈川区菅田町1718番地1
デイサービス事業 定員1日55名 | <平成11年6月開設> |
| (2) 横浜市港南台地域ケアプラザ | 【所在地】 横浜市港南区港南台3丁目3番1号
デイサービス事業 定員1日25名 | <平成6年11月開設> |
| (3) 横浜市六浦地域ケアプラザ | 【所在地】 横浜市金沢区六浦5丁目20番2号
デイサービス事業 定員1日40名 | <平成10年5月開設> |
| (4) 横浜市能見台地域ケアプラザ | 【所在地】 横浜市金沢区能見台東2番1号
デイサービス事業 定員1日40名 | <平成13年9月開設> |
| (5) 平塚市袖ヶ浜デイサービスセンター | 【所在地】 平塚市袖ヶ浜20-1
デイサービス事業 定員1日25名 | <平成12年4月開設> |

8. 訪問看護施設

- | | | |
|--------------------|--------------------------|-------------|
| (1) かながわ訪問看護ステーション | 【所在地】 横浜市神奈川区富家町6番地6 | <平成10年9月開設> |
| (2) 南部訪問看護ステーション | 【所在地】 横浜市港南区港南台3丁目11番29号 | <平成9年3月開設> |
| (3) わかくさ訪問看護ステーション | 【所在地】 横浜市金沢区平潟町11番28号 | <平成8年10月開設> |
| (4) 平塚訪問看護ステーション | 【所在地】 平塚市立野町35番地8号 | <平成10年6月開設> |

職員の状況

*平成26年4月1日現在見込 ()内は兼務者

施 設	職 種		構 成 職 員 数																							
			<常勤職員内訳>																							
			医師		看護職		医療技術		保育士		事務職		福祉相談		福祉介護		その他技術		労務職		常勤計		非常勤計		合 計	
支 部 事 務 局									5											5	(0)	0		5	(0)	
横 浜 市 東 部 病 院	200			60	1		199		2		90		6		7				51		1,156	(0)	140		1,296	(0)
神 奈 川 県 病 院	16			109			138			19		6		2							290	(0)	102		392	(0)
横 浜 市 南 部 病 院	148			483			113		11		67		5						57		884	(0)	191		1,075	(0)
若 草 病 院	18			80			45			25		3				1		14		186	(0)	153		339	(0)	
平 塚 病 院	9			64			36			18		2						23		152	(0)	84		236	(0)	
湘 南 苑	1	(1)		7	(1)		2	(1)	0	(0)	2	(2)	2	(0)	16	(0)	0	(0)	0	(1)	30	(6)	18		48	(6)
若 草 ホ ー ム				5			1			4		4		21						35	(0)	29		64	(0)	
わ か く さ 保 育 園									9		1					1				11	(0)	20		31	(0)	
金 沢 若 草 園										4				11						15	(0)	29		44	(0)	
重症心身障害児(者)施設サルビア	2			28					5		2		2		13				2		54	(0)	5		59	(0)
かながわ訪問看護ステーション				6																6	(0)	17		23	(0)	
南部訪問看護ステーション				8	(2)		1			4										13	(2)	24	(2)	37	(4)	
わかくさ訪問看護ステーション				5						1										6	(0)	9	(2)	15	(2)	
平塚訪問看護ステーション				4							(1)	3								7	(1)	0		7	(1)	
横浜市菅田地域ケアプラザ				2						3		5		5						15	(0)	44		59	(0)	
横浜市港南台地域ケアプラザ					(1)					2		6		3						11	(1)	37		48	(1)	
横浜市六浦地域ケアプラザ				1						3		4		5						13	(0)	44		57	(0)	
横浜市能見台地域ケアプラザ										4	(0)	7	(0)	3	(0)	0				14	(0)	50		64	(0)	
平塚市袖ヶ浜デイサービスセンター				1							(2)	2		2					(1)	5	(3)	11		16	(3)	
合 計	394	(1)		1,404	(4)		535	(1)	27	(0)	254	(1)	57	(0)	88	(0)	2	(0)	147	(0)	2,908	(5)	1,007	(0)	3,915	(5)
前 年 度 計	375	(1)		1,339	(7)		494	(1)	27	(0)	237	(0)	56	(0)	94	(0)	2	(0)	149	(0)	2,773	(9)	944	(8)	3,717	(17)
前 年 度 比 増 減	19	(0)		65	(▲3)		41	(0)	0	(0)	17	(▲1)	1	(0)	▲6	(0)	0	(0)	▲2	(0)	135	(▲4)	63	(▲8)	198	(▲12)

2. 支部事業計画

(1) 理事会、評議員会

平成26年5月

ア. 理事会 平成25年度事業報告・決算等を審議

平成27年3月

ア. 理事会 平成27年度事業計画・予算等を審議

(2) 支部運営委員会(隔月開催)

理事会付議事項、支部業務運営に関する重要事項、施設間で調整を要する共通事項について協議、調査及び連絡調整を行う

(3) 支部運営委員会専門部会

運営委員会に次の専門部会を設け専門的に協議、研究及び連絡調整を行う

ア. 院長部会(毎月開催)

病院相互の運営及び共通事項等の問題について協議を行う

イ. 病院事務部(局)長会(毎月開催)

病院事務管理部門及び共通事項等の問題について協議を行う

ウ. 病院看護部長会(隔月開催)

病院看護部門及び共通事項等の問題について協議、研究を行う

エ. 薬局長部会(年数回開催)

病院薬局部門共通事項等の問題について協議、研究を行う

オ. ケアプラザ所長部会(毎月開催)

ケアプラザ間での共通事項等の問題について協議を行う

カ. ケースワーカー部会(隔月開催)

医療相談部門の施設間の連絡調整や共通事項等の問題について協議、研究を行う

キ. 栄養士部会(年数回開催)

栄養部門の施設間の連絡調整や共通事項等の問題について協議、研究を行う

ク. 診療資機材購買部会(隔月開催)

病院購買部門間での共通事項等の問題について協議を行う

ケ. 医事検討部会(随時開催)

病院医事部門間での共通事項等の問題について協議、研究を行う

コ. 実務担当者部会(随時開催)

事務部門及び共通事項等の問題について協議、研究を行う

(4) 職員研修事業

ア. 看護職員研修会(年1回実施)

看護職員の知識と看護技術の向上を目的として実施する

イ. 実務担当者研修会(年1回実施)

ウ. 人権研修会(年2回実施)

(5) 職員福利厚生事業

職員が健康に安心して勤務できるよう、医療共済事業等を行う

3. 支部事業予算

(1) 支部事務局一般会計

	今年度		前年度	前年比増減		今年度		前年度	前年比増減
収入	支部費収入	112,723 千円	106,218 千円	6,505 千円	支出	運営経費	185,443 千円	172,056 千円	13,387 千円
	本部運営金収入	94,890 千円	89,418 千円	5,472 千円					
	その他医業収益	975 千円	975 千円	0 千円					
	その他医業外収益等	767 千円	767 千円	0 千円					
	受取利息配当金	15 千円	15 千円	0 千円					
	当期損失	0 千円	0 千円	0 千円		当期利益	23,927 千円	25,337 千円	▲ 1,410 千円
	合 計	209,370 千円	197,393 千円	11,977 千円		合 計	209,370 千円	197,393 千円	11,977 千円
収支差額		23,927 千円	25,337 千円						

(2) 支部財政調整基金事業特別会計

	今年度		前年度	前年比増減		今年度		前年度	前年比増減
収入	財政調整基金収入	17,223 千円	16,264 千円	959 千円	支出	その他	0 千円	0 千円	0 千円
	受取配当金利息	220 千円	185 千円	35 千円		雑 費	7 千円	5 千円	2 千円
	その他医業外収益	7 千円	7 千円	0 千円					
	当期損失	0 千円	0 千円	0 千円		当期利益	17,443 千円	15,916 千円	1,527 千円
	合 計	17,450 千円	16,456 千円	994 千円		合 計	17,450 千円	15,921 千円	1,529 千円
収支差額		17,443 千円	16,451 千円						

(3) 職員医療共済事業特別会計

職員の健康と福利厚生に資することを目的として、施設と職員の相互扶助事業として実施する

	今年度		前年度	前年比増減		今年度		前年度	前年比増減
収入	医療共済事業収入	47,300 千円	44,000 千円	3,300 千円	支出	見舞給付金	44,700 千円	42,000 千円	2,700 千円
	受取配当金利息	410 千円	410 千円	0 千円		雑 費	20 千円	20 千円	0 千円
	当期損失	0 千円	0 千円	0 千円		当期利益	2,990 千円	2,390 千円	600 千円
	合 計	47,710 千円	44,410 千円	3,300 千円		合 計	47,710 千円	44,410 千円	3,300 千円
収支差額		2,990 千円	2,390 千円						

(4)収益事業特別会計(平成24年度より)

駐車場会計

	今年度		前年度	前年比増減		今年度		前年度	前年比増減
収 入	賃借料等収入	1,780 千円	1,877 千円	▲ 97 千円	支 出	光熱水費	2 千円	6 千円	▲ 4 千円
			千円	0 千円		雑費	41 千円	40 千円	1 千円
			千円	0 千円		租税公課	712 千円	712 千円	0 千円
			千円	0 千円		委託費	100 千円	90 千円	10 千円
			千円	0 千円		その他(本・支部費)	150 千円	150 千円	0 千円
	当期損失	0 千円	千円	0 千円		当期利益	775 千円	879 千円	▲ 104 千円
	合 計	1,780 千円	0 千円	1,780 千円		合 計	1,780 千円	1,877 千円	▲ 97 千円
収支差額		775 千円	879 千円						

4. 病院事業計画

各病院における地域性や期待される役割を考慮し、それぞれの病院機能を十分発揮できるよう地域の医療機関との連携を深めるとともに質が高く良質な医療の提供に努めるものとする。また、効率的で効果的な業務運営体制を構築する中で、一層の経営健全化を目指すものとする。

◎横浜市東部病院

平成25年度から29年度までの5年間は「地域医療を支え、目標とされる高度急性期病院になろう ～県病院との一体運営の確立～」を中期ビジョンに掲げて事業に取り組んでいる。”高度急性期病院”とは、厚生労働省が2025年の姿として示している急性期病院のイメージをあらわしており、当院が平成24年度から指定を受けている”DPCⅡ群病院”を堅持し、横浜市中核病院として、地域を支え、全国のモデル病院になることを目標としている。

また、その目標を実現させるためには、県病院と機能・役割を分担しながら、一体となって急性期から回復期、在宅までを見据えた医療を提供していくことが必須となるため、「～県病院との一体運営の確立～」を副題としている。

平成26年度は、開院以来目指してきた「チーム医療」をさらに進め、深め、本物にしてゆこうという願いを込め、スローガンを「チーム医療の進化・深化・真化」とし、下記に掲げる取り組みを重点項目とした。

1. 互いに育成し合う東部医療人（学習と成長の視点）

組織において何よりも重要な資源である、”職員”のモチベーションを高め、維持していく。

- (1) 職種の枠を超えた人材育成：多職種共通の階層別教育を行い、研修の充実をはかる。また専門職種としてのプロフェッショナリズムや社会人としてのモラル、コンプライアンスに関する研修を充実させていく。
- (2) 人事評価制度の発展：評価制度を改善しながら、人事評価の納得性を高めていく。また評価者研修を充実させ、評価の標準化を目指す。併せて職種間で統一性の低い昇格基準の標準化も検討していく。
- (3) 職員のサポート体制の整備：これまで不明確であった、当院に勤務する中での諸問題を受ける窓口として、人事課内に働き支援センターを設置する。また職員満足度調査を継続的に実施し、職員の満足向上に努める。
- (4) 職種間の情報共有によるコミュニケーションの推進：各部署の職場・職種の理解度を高めていくため、職場紹介のための発表会を企画する。またこれまで職種横断的に行われているイベントの支援を充実させ、他部門との交流の機会を増やしていく。

【事例】職員交流イベント 6,000千円、クラブ活動 1,000千円、研修制度充実 50,000万円、海外研修 5,550万円、E-ラーニングシステム費用1,000千円

2. 高度急性期医療の更なる深化（業務プロセスの視点）

当院の使命である高度な専門医療を提供し、地域住民の命を守るため、当院が保有する医療資源を増やし、有効活用していく。

- (1) 手術実施体制の強化：人材を確保し、手術室全体のさらなる効率化を行い、手術室稼働率、件数の増加をはかる。
- (2) 高度救急の実践：平成26年度、当院は全国で初めて横浜市の「外傷センター」に指定される。これまで以上に救急隊や近隣の医療機関との相互理解と連携強化を推進し、当院が担当すべき症例を確実に受け入れる体制を整備する。
- (3) 地域完結型医療に向けた県病院との診療一体化の深化：今までよりも県病院への転院患者を増加させ、当院のベッドの有効利用を行う。また他の病院では対応不可能な重症例を絶対にこたわらない体制づくりを進めていく。

(4) 集学的がん治療提供体制の強化 : がん診療に係る人材確保と育成を強化し、がん診療の質の向上を目指す。

【事例】 診療単価の増加 入院:86,917円(対前年+3,173円)、外来17,053円(対前年+16円)、大型医療機器の整備 230,000千円(取得価格)、TAVIの実施及び手術件数増等による単価アップ

3. 情報の有効利用(質の視点)

今後、医療の質および情報の発信は、医療機関を評価する尺度など、重要な要因になっていくことが予想されるため、組織をあげて取り組んでいく。

(1) 医療の質データの可視化とマネジメント : 病院全体のいくつかのセンターの診療成績やクオリティインディケーターをホームページで公開していく。

(2) 部門間連携強化による効率的医療提供体制の確立 : 電子カルテを活用し、部門間での状況共有をやすくし、効率的なチーム医療が行えるようにする。

(3) 広報活動の充実と強化 : 平成25年度に設置した広報推進室をさらに強化していく。

【事例】 病院定期刊行物制作 5,930千円、WEB制作や広報イベント開催等新たな広報活動費用 28,410千円

4. 顧客の安心と信頼の追求(顧客の視点)

横浜市の地域中核病院・地域医療支援病院として、横浜市東部地域に質の高い急性期医療及び、高度専門医療を提供していく。

(1) 地域の医療機関から選ばれる病院 : 病院全体としての医療連携の他に、診療科ごとの顔の見える連携を進めていく。

また25年度に指定を受けた「認知症患者医療センター」の地域医療連携を進めていく。

(2) 患者支援とサービスの充実 : 患者からの問い合わせを一手に引き受ける窓口として、患者サポートセンターを設置する。

(3) 地域貢献活動の充実 : 地域医療支援病院の役割を果たすべく、地域健康レベルの向上に寄与する事を目標とする。

また市民公開講座などを地域の医師会と共催する事で、地域連携を地域住民に印象付け、逆紹介の円滑化をはかる。

【事例】 前方後方連携営業活動 180千円、近隣医療従事者勉強会開催 80千円、市民公開講座2,800千円
がんサロン「さんぽ道」開催や神奈川区病院との連携の会等26年度からの新たな取り組み 190千円

5. 県病院との一体化を支える財務(財務の視点)

当院と県病院が協働して財務を支えるという覚悟が必要である。適切な労働環境を確保しながら、人材育成のための投資や、設備投資などを行っていく。

(1) 将来の安定的経営のための収益確保 : 増税等外部環境変化に耐え、東部病院、県病院と両院の発展に向けた収益確保に努める。

(2) 計画的な経営の実行 : 原価計算を用いて、経営管理を充実させていく。

【事例】 財務の改善(長期借入金の返済) 918,440千円、医業収益の確保 20,569,856千円

◎神奈川県病院

中期ビジョン「良質な地域完結型医療のモデルケースを東部病院と共に構築する」を実現するために、平成26年度のスローガンを「見せましょう！医の技術と癒しの心を～次の100年に向けての基盤づくり～」と定め、事業展開を図る。

1. 職員の満足度向上に向けた体制の確立（学習と成長の視点）

(1) チーム医療精神の醸成

○院内での短期相互研修、多職種合同勉強会などを行う。

(2) 風通しのいい職場づくり

○東部病院との合同研修・職員交流を積極的に行い、情報共有を徹底する。

(3) 職員が働きやすい組織環境の整備

○医師・看護師の事務作業の負担を軽減するために、外来事務補助者を配置する。また、離職原因の分析を行い、職員相談窓口を設置する。

(4) 地域医療を支えるための人材確保

○より重症度の高い患者に対応するため、人員の確保・教育を行う。

(5) キャリアアップへのサポート

○相応の研究研修予算を確保し、より積極的な学会発表を促す。

(6) 人事評価制度の土台作り

○目標管理に関する研修会を実施し、個人ごとの目標管理制度を検討する。また、教育委員会（仮称）を設置する。

(7) 互助会・福利厚生 の充実

○職員ニーズにあった互助会制度を検討し、制度の再構築を図る。具体的には、クラブ活動への補助を行う。

2. 地域医療のトータルケア体制の構築（業務プロセスの視点）

(1) 診療科の一体化による病床の有効活用

○回復期病棟の1病棟を、一般（亜急）病床に区分変更して、東部病院の患者を受け入れていく。それにより、診療単価の高い東部病院のベッドを有効利用していく。
積極的な患者の受け入れの為に、東部病院から神奈川県病院への連携パスの作成や、病床管理室の機能をさらに強化し、東部を含めたベッドコントロールを行っていく。

(2) 一体化した東部病院と地域医療のゲートとしての役割強化（トリアージの入口、地域（在宅）への出口）

○緊急入院ベッドの確保を行い、神奈川県病院、東部病院間を往復するシャトルバスの運行、神奈川県病院のCT、MRIの有効利用、
フットケア外来の新設なども具体的に検討していく。

(3) 情報共有ツールの整備

○27年1月から電子カルテを導入する。新棟が竣工する前に電子カルテを導入し、スムーズな診療開始をすることは非常に重要である。これからプロジェクトを立ち上げ、
東部病院と患者情報の共有、業務の効率化を進めていく。

(4) ワンランク上のリハビリテーションの提供

○回復期の患者、急性期を脱してきた患者に対して、クリニカルパスを利用して、早期にリハビリ介入し、早期回復と早期社会復帰を目指す。
そして、回復期リハビリテーション病棟は、脳血管疾患に特化して、さらに質を高め、ブランド確立を目指す。

3. 相手の立場に立った医療の提供（顧客の視点）

(1) 患者さんに優しい医療の提供（患者）

○患者さんに安心して入院生活を送って頂くため、クリニカルパスを作成し、その運用数を増やしていく。また、疾患への理解を深めてもらうために、疾患説明書も作成していく。

(2) 地域医療機関ニーズの掘り起こし(地域医療機関)

○医師会や病診連携Wの会向けの勉強会や研究会などを企画し、地域との関係性を深めていく。また、後方施設の開拓を行っていくため、地域の医療機関への訪問も積極的に行っていく。

(3) 適切な情報発信と社会貢献(地域住民)

○さらに当院のことを地域の方に知ってもらうため、現状の診療を反映したホームページの作成、更新を行い、また東部病院との一体運営についてもアピールする。

また、地域住民の方の健康増進という観点から市民公開講座の回数を増やし、現在も行っている糖尿病教室、腎臓病教室などに加え、脳卒中教室なども実施していく。

4. 長期的視点に立った経営基盤の確立(財務の視点)

(1) 健全経営の推進

○医業利益の確保、借入金の継続的な減少を目標とし、健全経営を推進する。

(2) 一体運営の可視化

○以前から神奈川県病院と東部病院は一体運営を目指し、様々な取り組み・改善を実施してきた。今後は収支の数字の面も合算し、一体運営の可視化を進めていく。

◎横浜市南部病院

【総括】

開院から30年を迎えた平成25年度は、「30年を節目として原点に立ち返り、南部病院の社会的使命を共有し前進する」という行動計画のもと、記念事業や公開講座等を通し、地域に対して新たな南部病院の姿を印象付けることができた1年となった。加えて医療機能評価の受審により、医療の質の向上には終わりがなく、継続した努力が不可欠であることが共通認識となった。

平成26年度は、診療報酬改定を始めとして医療制度が大きく変革していく年であり、南部病院にとっては30年を区切りとした新たな1年目となる。それらを意識しながら、地域に信頼され、医療の質を常に向上し続けていくために、「南部病院の『強み』を活かし、より強固な地域連携のもと、良質な医療機能の充実を図る」という行動目標を設定した。加えて、昨年度より1つ増やした6つの柱で運営を進めていく。

上記のことを念頭に、重点取り組み事項については次の3つを掲げた。

1つ目は「人材の確保・育成と病床の早期回復」であり、地域中核病院として、地域の患者さんを最大限まで受け入れることができていない現状を理解し、人員の確保と育成に引き続き力を入れ、早期に病床復活を果たす。

2つ目は「協力病院や協力医との連携の深化」であり、これまでも地域医療支援病院として病病・病診連携は絶えず行ってきたが、これまでの関係から更に一歩踏み込んだ関係の構築を目指す。

3つ目は「病院再整備事業の展開」であり、老朽化、狭あい化が進む当院の再整備のスピードを上げるため、用地の確定や機能の検討、横浜市との本格的な協議などを進めていくとともに、資金の確保や計画的な投資などの努力も行っていく。

職員一人一人が「地域に支えられている南部病院」という意識を持ち、診療報酬の改定や消費税増税、2025年問題にも注視しながら、「親切・勤勉」の精神で業務に邁進していく。

【重点取り組み事項】

1. 人材の確保・育成と病床の早期回復 2. 協力病院や協力医との連携の深化 3. 病院再整備事業の展開

【6つの柱】

1. 地域中核病院・済生会病院としての責務遂行

(1) 地域中核病院としての更なる4事業（救急・災害・周産期・小児）強化

①救急診療体制の充実②災害拠点病院機能の充実③産科拠点病院としての体制作り④小児救急拠点病院機能の充実

(2) 済生会としての責務遂行

①済生会グループによる医療-福祉-介護の連携推進②なでしこプランの強化③中期事業計画の推進

(3) 社会貢献の重視と地域に開かれた病院としての使命遂行

①病床の早期回復②EPA看護師の受け入れ準備③積極的な公開講座の実施

2. 患者さんと地域の目線に立った良質な医療の提供

(1) 地域連携の強化

①協力病院や協力医との連携の深化②在宅医療の支援

(2) 安全・安心で質の高い医療の提供

①部門間の協力を意識したチーム医療の推進②4疾病（がん・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病）への重点対応③がん診療支援センターの充実

④外来機能と土曜日診療の見直し⑤手術内容の見直し⑥急性期リハビリテーション機能の拡大と充実⑦NICUの整備

⑧感染対策室・輸血部設置に向けた検討⑨機能評価を意識した質の維持と向上⑩臨床指標の充実と公開

(3) 患者満足度向上

①患者満足向上と職員満足向上との融合と追求②「患者満足度調査」や「皆様の声」の検証と対策

3. 将来を見据えた人材の確保と育成
 - (1) 人材確保
 - ①医師人材の充実②看護師の安定的な確保③メディカルスタッフの計画的採用
 - (2) 人材育成
 - ①チーム医療総合教育の充実②学会発表の推進と外部へのアピール強化③次世代リーダー職員養成④指導医及び研修医養成
4. 働く人に選ばれる職場環境の整備
 - (1) ハード整備
 - ①食堂リニューアル
 - (2) ソフト整備
 - ①患者満足向上と職員満足向上との融合と追求②職員の努力を支援③職員寮の継続的な見直し④レクリエーションの充実⑤職員の健康管理の徹底
5. 持続可能な経営基盤の強化
 - (1) 戦略的取り組み
 - ①病床の早期回復②診療科の「強み」強化③特命プロジェクトの発展④経営戦略機能の充実
 - (2) 経営の健全化
 - ①病床の編成検討②ベッドコントロールの徹底③手術室の有効利用
 - (3) 支出の抑制
 - ①後発医薬品の積極的導入②不要不急な超過勤務の縮減③診療材料価格の継続的な見直し④委託契約の見直し
6. 新病院建設に向けた計画的な準備
 - (1) 病院再整備事業の推進
 - ①横浜市との協議機関の設置②建替手法の検討及び用地の確定③将来の診療機能検討
 - ④神奈川県済生会、済生会本部との連携強化⑤地域からの信頼と経営の安定
 - (2) 建設資金の確保
 - ①新病院建設を視野に入れた計画的な設備投資②新病院建設を見据えた毎年の安定的な資金留保
 - (3) 診療機能向上のためのリニューアル
 - ①生理機能検査室のリニューアル②内視鏡室のリニューアル

◎若草病院

本院は、急性期から慢性期、更には在宅医療までカバーするケアミックス型でシームレスな応需体制を備えた病院として、地域医療の要の役割を果たし、地域の人々が必要とする医療を提供している。

本院では、関係医療機関や福祉施設との密接な連携の下、引続き地域医療の向上・発展に寄与するため、中期事業計画に基づき医療機能の見直しを行うとともに、施設設備の整備に努めていきたいと考えており、平成26年度は次の事業を推進していく。

1. 診療機能の充実

(1) 診療体制の強化

- ・内部組織として、診療科毎のセンターを設置し、関係医療機器の整備及びスタッフの充実を図る。

①内視鏡センター（内科・外科）

②連携がんセンター（外科）

③ヘルニアセンター（外科）

④人工関節センター（整形外科）

(2) リハビリテーション機能の充実

- ・スタッフ増などにより365日リハ体制の拡大を図り、回復期リハ機能の充実に努める。

- ・心臓リハ機能の充実を図り、患者拡大を図る。

(3) 訪問診療機能の充実

- ・機能強化型在宅療養支援病院としての体制を強化し、対象患者数及び訪問回数の増を図る。

2. 病棟の着実な運営

(1) 急性期病棟

- ・高次機能病院との連携強化による患者の確保に努め、病床利用率の向上を図る。

(2) 回復期リハビリテーション病棟

- ・脳卒中患者ネットワークとの連携を強め、患者の確保及び病床利用率の向上を図る。

(3) 慢性期病棟

- ・在宅医療との連携により、長期患者の退院を促進し、病棟回転率の向上を図る。

- ・診療報酬改正に対応するため、亜急性期病床及び特殊疾患病棟の見直しを行う。

(4) 南部病院との連携

- ・南部病院との連携を一層強化し、診療科及び病棟を問わず、要請のあったすべての患者の受入れを行う。

3. なでしこプランの推進

(1) 無料低額診療事業の充実

- ・福祉事務所等と連携し、対象者の拡大方策を推進する。

(2) 各種事業の推進

- ・研修事業

医療講座の効果的開催、介護教室の拡大、医療福祉関係職員研修など、高齢者や障害者、更には支援職種を対象とした研修事業を推進する。

- ・医療・健診・相談事業

関係機関・団体等と連携し、ホームレス巡回相談、外国人健診、難病患者一時入院受入れ、更生保護施設支援、婦人保護施設支援などの事業を実施する。

4. 療養環境の整備

(1) ベッドの計画的更新

- ・療養環境の向上を図るため、引続き電動ベッドへの切換えを実施する。

(2) 衛生環境等の整備

- ・感染防止対策委員会の機能を活用し、良好な衛生環境の確保、向上に努める。

5. 事業推進体制の整備

- (1) リハ職員体制の見直し
 - ・365日リハ体制の強化を図るため、リハ技士を増員するとともに引続き勤務体制の見直しを実施する。
- (2) 地域連携体制の見直し
 - ・患者入院窓口の一元化及び退院支援の促進など、円滑な入退院調整を行うため、組織体制を見直し、関係職員を配置する。

6. 検討委員会の設置

- (1) 将来構想
 - ・新しい診療機能の整備、施設の老朽化への対応等を考慮し、新棟建設等を視野に入れた将来構想を引続き検討していく。
- (2) 情報システム
 - ・院内情報システム整備の一環として、医事・オーダーリングシステムの更新を検討し、実施する。

◎平塚病院

平塚病院は平成26年度に開設80周年を迎える。この記念すべき年に「90周年への新たな挑戦」～地域に求められる病院を目指し、更なるステップアップを図ろう～という行動目標を設定した。今年度はこの行動目標に基づき、地域医療に貢献するための事業を展開する。

併せて新病院計画も同時に進める。平成25年度は移転用地の売買合意や設計事務所の決定など、新病院の基礎となる事柄を先行して進めたが、設計事務所の決定により、本格的な新病院計画に着手しはじめている。

この新病院移転に向けて、昨年度は足元の経営基盤を安定させ、より充実した新病院設立に結びつける計画であった。しかし相次ぐ常勤医師の退職により、収益が大幅に落ち込み、大変厳しい経営成績となった。

平成26年度は、この厳しい経営状況から早期に回復すべく、常勤医師・看護師等の確保による医療提供体制の再構築を行うとともに、中小病院に求められる患者ニーズ、地域ニーズにしっかりと応えていくことで、入院・外来ともに患者数・単価を増加させ、必ず基本となる収益を改善する決意である。そのために、次の取り組みをPDCAサイクルを回しながら確実に実行する。

1. 医療提供体制再構築の取り組み

(1) 常勤医師の確保

整形外科は東海大学と緊密な関係を構築しており、常勤医師5名体制となっている。今後も大学医局との関係維持に努め、安定した医療提供体制の維持、向上に結びつける。内科は常勤医師2名体制となっており、これからの高齢者医療のためにも、総合内科、消化器内科、神経内科等の医師獲得が急務である。外科の再開も望まれており、これらの実現のために次の施策を実行する。

- ① 近隣大学医局との緊密な関係構築。
- ② あらゆる人脈を通しての医師人材ネットワークの拡大。
- ③ 県内済生会病院への医師派遣協力の働きかけ。
- ④ 医師派遣会社との信頼関係向上による、優秀な人材確保への結びつけ。

(2) 看護師の充足、確保

看護師については慢性的に不足状態が続いており、安定的に入院患者数を受け入れるためには、採用が不可欠となる。特に今年度は、診療報酬改定により実質的にも看護師確保の必要性が増すため、継続的な採用活動に注力する。併せて、退職防止の施策にも取り組む。

2. 患者ニーズを捉えた医療提供への取り組み

(1) 近隣の急性期大病院との連携

平塚市民病院、平塚共済病院を中心に病々連携を維持強化し、入院患者数の安定を図る。このために、病院の窓口機能となる地域連携室には継続して経営資源を投入し、患者受け入れがスムーズに流れる体制を確保する。加えて、亜急性期病床を現在の11床から24床に増床し、安定した病床稼働を確保する体制を整える。

(2) クリニックとの連携

近隣のクリニックとの病診連携を更に深め、紹介逆紹介を繰り返すことによって、信頼を構築することにより、手術適応者を中心とした紹介患者増加に結びつける。

(3) 中小病院としての外来機能

医療政策の方向性において、中小病院には大病院が抱えきれない外来機能の担い手としての役割が期待されている。当院はまさにこれに当り、医療提供体制の整備によってこの役割をしっかりと果たしたい。加えて、軽度、中等度の救急患者の受け入れにも積極的に取り組む。

(4) 当院からの発信活動

予防医療や医療知識の地域への提供は、潜在的なニーズの掘り起こしに繋がる。地域の健康を守る役割も含め、次の取り組みを実施する。

- ① 人間ドック広報の強化。
- ② 健康講座の毎月開催(内4回は院外にて出張講座を開催)。
- ③ 希望者の多い「健康体操」を毎週開催。

3. コストコントロールの取り組み

当院は小規模な病院であるため、少しのコストゆらぎも最終損益に影響を与える。コストに関するモニタリングを徹底するとともに、改善に取り組む。

(1) 消費税増税に伴って、外部への支払が一律で増加することが見込まれるため、各種仕入れの価格、数量、取引業者についてゼロベースで見直す。

(2) 人件費体制や雇用の仕組みを見直す。

- ① 事務部門を中心に契約社員制度を創設する。
- ② 成果主義的な考え方を取り入れる。(人事考課制度、年俸制等の導入検討)

4. 無料低額診療事業、生活困窮者支援事業の取り組み

無料低額診療事業、生活困窮者支援事業は済生会の根幹をなす事業であり、継続して実施する。特に当院が所在する平塚市は、神奈川県において、人口10万人当りのホームレスが川崎市に次いで多い街であり、生活困窮者支援事業の実践が求められる。行政・関係団体等と密に連携を取りながら最大限の奉仕をする。また、更生保護施設の支援事業についても、引き続き可能な限り貢献する。

5. 経営改善の継続的推進

これらの取り組みに付いて、院内に経営改善推進委員会を設置して、PDCAサイクルを使いながら常にモニタリングすることで、取り組みの徹底した実行に結びつける。

(1)年間取扱い予定患者延数

(単位:人)

種 別 病院名		総 患 者 数			医療保険適用患者延数内訳					介護保険 適用延数	1日当り患者数	
					社会保険 適用患者 延数	老人保健 適用患者 延数	生活保護 適用患者 延数	その他の 法令適用 患者延数	自費 適用患者 延数		今年度計画	前年度計画
		今年度計画	前年度計画	前年比増減								
横浜市東部病院 (516床)	入院	179,945	179,580	365	83,494	57,582	11,337	23,393	4,139	0	493 稼働率 (95.5%)	492 (95.3%)
	外来	241,560	231,800	9,760	139,380	55,317	12,803	29,229	4,831		990	950
	計	421,505	411,380	10,125	222,874	112,899	24,140	52,622	8,970	0	1,483	1,442
神奈川県病院 (187床)	入院	67,890	66,430	1,460	24,861	26,481	6,114	10,115	319	0	186 稼働率 (99.5%)	182 (101.1%)
	外来	79,058	72,471	6,587	34,514	18,866	3,846	21,305	527		324	297
	計	146,948	138,901	8,047	59,375	45,347	9,960	31,420	846	0	510	479
横浜市南部病院 (500床)	入院	157,680	147,825	9,855	70,524	60,763	5,435	14,523	6,435	0	432 稼働率 (86.4%)	405 (81.0%)
	外来	291,500	293,700	▲ 2,200	155,684	83,895	7,932	30,549	13,440		1,100	1,100
	計	449,180	441,525	7,655	226,208	144,658	13,367	45,072	19,875	0	1,532	1,505
若草病院 (199床)	入院	68,620	68,620	0	13,963	30,790	2,963	20,798	106	0	188 稼働率 (94.5%)	188 (94.5%)
	外来	61,530	61,740	▲ 210	32,001	22,309	2,961	2,733	526		210	211
	計	130,150	130,360	▲ 210	45,964	53,099	5,924	23,531	632	0	398	399
平塚病院 (114床)	入院	35,221	36,865	▲ 1,644	6,808	19,627	1,912	6,416	458	0	96 稼働率 (84.2%)	101 (88.6%)
	外来	73,250	73,250	0	33,975	24,836	3,263	9,086	2,090		250	250
	計	108,471	110,115	▲ 1,644	40,783	44,463	5,175	15,502	2,548	0	346	351
合 計 (1,516床)	入院	509,356	499,320	10,036	199,650	195,243	27,761	75,245	11,457		1,395 稼働率 (92.4%)	1,368 (90.7%)
	外来	746,898	732,961	13,937	395,554	205,223	30,805	92,902	21,414		2,874	2,808
	計	1,256,254	1,232,281	23,973	595,204	400,466	58,566	168,147	32,871	0	4,269	4,176

(2) 福祉医療事業計画

ア. 無料、低額等診療計画

社会福祉法人病院として無料又は低額な費用で医療を提供する

	生活保護法	無料低額減免等	合 計	前年度	前年比増減
横浜市東部病院	24,140 名	9,580 名	33,720 名	28,797 名	4,923 名
神奈川県病院	9,960 名	5,252 名	15,212 名	20,322 名	▲ 5,110 名
横浜市南部病院	13,367 名	19,619 名	32,986 名	30,483 名	2,503 名
若 草 病 院	5,924 名	8,500 名	14,424 名	14,687 名	▲ 263 名
平 塚 病 院	5,175 名	13,102 名	18,277 名	16,604 名	1,673 名
合 計	58,566 名	56,053 名	114,619 名	110,893 名	3,726 名

イ. 福祉医療相談、在宅介護等相談計画

院内外にかかわらず無料相談を積極的に実施する

	横浜市東部病院			神奈川県病院			横浜市南部病院			若 草 病 院		
	今年度	前年度	前年比増減	今年度	前年度	前年比増減	今年度	前年度	前年比増減	今年度	前年度	前年比増減
年間取扱 延 数	244 回 11,800 名	244 回 11,300 名	0 回 500 名	244 回 5,100 名	244 回 4,500 名	0 回 600 名	265 回 11,000 名	267 回 11,000 名	▲ 2 回 0 名	293 回 5,500 名	294 回 5,300 名	▲ 1 回 200 名
	平 塚 病 院											
	今年度	前年度	前年比増減									
年間取扱 延 数	396 回 5,500 名	396 回 5,424 名	0 回 76 名									

ウ. 在宅医療支援計画

高齢者や在宅療養者宅を訪問して介護する家族の負担軽減のため支援活動を行う

病院名	計 画	支 援 事 業	年間取扱延数	前年度取扱延数	前年比増減
神奈川県病院		訪問相談、訪問栄養指導	132 名	120 名	12 名
若 草 病 院		訪問診療、訪問看護	1,800 名	1,700 名	100 名
平 塚 病 院		訪問診療、訪問リハビリ	2,000 名	1,337 名	663 名
合 計			3,932 名	3,157 名	775 名

エ. 介護体制及び福祉施設との連携

福祉施設との連携を図り、充実した介護体制で、夜間・休日の時間外診療にも応需する

	許可病床	健康相談	介護体制	連携する福祉施設	夜間休日診療
横浜市東部病院	516床	月18回	25 名	重症心身障害児(者)施設 サルビア	全 日
神奈川県病院	187床	月10回	16 名	かながわ訪問看護ステーション・横浜市菅田地域ケアプラザ	全 日
横浜市南部病院	500床	月8 回	20 名	南部訪問看護ステーション・横浜市港南台地域ケアプラザ	全 日
若 草 病 院	199床	月4 回	5 名	特別養護老人若草ホーム・わかさ保育園 わかさ訪問看護ステーション・金沢若草園 横浜市六浦地域ケアプラザ・横浜市能見台地域ケアプラザ	全 日
平 塚 病 院	114床	月3 回	4 名	老健施設湘南苑・平塚訪問看護ステーション 平塚市袖ヶ浜デイサービスセンター・平塚老人ホーム	全 日

オ. 保健衛生予防活動計画

地域住民が積極的に参加して保健衛生の予防知識の理解が深まるよう、患者や地域の方々を対象に講習会、教室等を開催する

	院内検診	予防接種	人間ドック	合 計	前年度	前年比増減		保健衛生予防教室		
								患者・家族対象	一般者対象	前年比増減
横浜市東部病院	12,509 名	2,896 名	0 名	15,405 名	13,703 名	1,702 名	12.4%	199 回	24 回	15 回
神奈川県病院	2,548 名	664 名	80 名	3,292 名	2,925 名	367 名	12.5%	60 回	0 回	▲ 36 回
横浜市南部病院	11,900 名	2,750 名	0 名	14,650 名	14,300 名	350 名	2.4%	100 回	0 回	▲ 10 回
若 草 病 院	5,098 名	1,030 名	63 名	6,191 名	5,800 名	391 名	6.7%	0 回	12 回	▲ 40 回
平 塚 病 院	3,000 名	1,800 名	220 名	5,020 名	5,236 名	▲ 216 名	▲ 4.1%	7 回	15 回	0 回
合 計	35,055 名	9,140 名	363 名	44,558 名	41,964 名	2,594 名	6.2%	366 回	51 回	▲ 71 回

☆ 院 内 検 診 『妊婦検診、がん検診、乳幼児健診、就職・就学健診』など

☆ 予 防 接 種 『麻疹、3種混合、インフルエンザ』など

☆ 保健衛生予防教室 患者対象としては『成人病教室、糖尿病教室、高血圧教室、母親教室、腎臓教室』などを、
一般の方を対象としては『成人病教室、糖尿病教室、健康講座・講習会』などを開催します

カ. 看護師等の救護派遣事業計画

公的医療機関として諸行事での保健救護活動に看護師を派遣する

	派 遣 先	今年度派遣件数・従事者延数		前年度派遣件数・従事者延数		前年比増減	
横浜市東部病院	横浜市主催健康教室他	2 件	2 名	2 件	2 名	0 件	0 名
神奈川県病院	神奈川県医療福祉施設協同組合	1 件	1 名	2 件	2 名	▲ 1 件	▲ 1 名
横浜市南部病院	ホームレス巡回相談、港南台連合自治会	3 件	3 名	3 件	3 名	0 件	0 名
若 草 病 院	市立金沢高等学校、平潟町内会等	1 件	2 名	1 件	2 名	0 件	0 名

キ. 福祉健康診断等事業計画

	事 業 報 告	今年度取扱延数		前年度取扱延数		前年比増減	
横浜市東部病院	外国人への結核定期外健康診断	1 回	約80名	1 回	約80名	0 回	0 名
神奈川県病院		1 回	約55名	1 回	約55名	0 回	0 名
横浜市南部病院		1 回	約50名	1 回	約50名	0 回	0 名
若 草 病 院		1 回	約50名	1 回	約50名	0 回	0 名
平 塚 病 院		1 回	約50名	1 回	約50名	0 回	0 名

	事 業 報 告	今年度取扱延数		前年度取扱延数		前年比増減	
横浜市東部病院	更生保護施設入所者への診療及び健康診断	6 回	約35名	6 回	約34名	0 回	1 名
神奈川県病院		13 回	約13名	8 回	約8名	5 回	5 名
横浜市南部病院		20 回	約20名	20 回	約20名	0 回	0 名
若 草 病 院		5 回	約5名	5 回	約5名	0 回	0 名
平 塚 病 院		10 回	約10名	10 回	約10名	0 回	0 名

	事 業 報 告	今年度取扱延数		前年度取扱延数		前年比増減	
横浜市東部病院	難民外国人への医療支援等	2 回	約2名	2 回	約2名	0 回	0 名
神奈川県病院		3 回	約0名	3 回	約3名	0 回	▲ 3 名
横浜市南部病院		3 回	約3名	3 回	約3名	0 回	0 名
若 草 病 院		0 回	約0名	0 回	約0名	0 回	0 名
平 塚 病 院		1 回	約1名	3 回	約3名	▲ 2 回	▲ 2 名

5. 病院施設整備計画

施設の特徴を活かし、地域から信頼される病院作りを推進するために、次の整備を計画する。

器械備品・建物改修工事等整備計画及び予算

	今年度計画		前年度計画		前年比増減		
横浜市東部病院	41 品目 施設・設備整備:65,000 医療機器、備品等:608,000 システム更新関連:598,000	1,271,000 千円	41 品目	2,172,800 千円	0 品目 ▲	901,800 千円	▲ 41.5 %
神奈川県病院	25 品目 (透析機器、超音波診断システム他)	85,694 千円	32 品目	4,229,388 千円	▲ 7 品目 ▲	4,143,694 千円	▲ 98.0 %
横浜市南部病院	17 品目 生理機能検査室改修工事他	566,664 千円	15 品目	496,600 千円	2 品目	70,064 千円	14.1 %
若草病院	23 品目 外科用内視鏡システム、電動ベッド等	109,292 千円	22 品目	99,450 千円	1 品目	9,842 千円	9.9 %
平塚病院	57 品目 医事コン更新(オーダーリング含む) PACS、超音波診断装置 他54品目	183,854 千円	56 品目	52,179 千円	1 品目	131,675 千円	252.4 %
合 計	163 品目	2,216,504 千円	166 品目	7,050,417 千円	▲ 3 品目 ▲	4,833,913 千円	▲ 68.6 %

6. 病院収支予算

5病院総合

(単位:千円)

収入	科目	今年度予算額	前年度予算額	前年比増減	
	医業収益	43,477,446	41,507,987	1,969,459	4.7 %
	医業外収益	418,235	431,227 ▲	12,992 ▲	3.0 %
	特別利益	401,900	387,997	13,903	3.6 %
	合計	44,297,581	42,327,211	1,970,370	4.7 %
支出	科目	今年度予算額	前年度予算額	前年比増減	
	医業費用	43,028,308	40,627,328	2,400,980	5.9 %
	医業外費用	579,093	594,584 ▲	15,491 ▲	2.6 %
	特別損失	34,561	15,489	19,072	123.1 %
	合計	43,641,962	41,237,401	2,404,561	5.8 %
当期利益		655,619	1,089,810		

5病院診療計画

		横浜市東部病院						神奈川県病院						横浜市南部病院					
		今年度計画		前年度計画		前年比増減		今年度計画		前年度計画		前年比増減		今年度計画		前年度計画		前年比増減	
内 訳	許可病床数	(516床)		(516床)				(187床)		(187床)				(500床)		(500床)			
	年間取扱患者延数	入院 179,945 名		179,580 名		365 名		入院 67,890 名		66,430 名		1,460 名		入院 157,680 名		147,825 名		9,855 名	
		(稼働率95.5%)				(0.2%)		(稼働率99.5%)				(2.2%)		(稼働率96.4%)				(6.7%)	
	1日当り取扱患者数	外来	241,580 名	231,800 名	9,780 名	4.2%	外来	79,058 名	72,471 名	6,587 名	9.1%	外来	291,500 名	283,700 名	▲ 2,200 名	▲ 0.7%			
		入院	493 名	492 名	1 名	0.2%	入院	186 名	182 名	4 名	2.2%	入院	432 名	405 名	27 名	6.7%			
	1日当り診療単価	外来	990 名	950 名	40 名	4.2%	外来	324 名	297 名	27 名	9.1%	外来	1,100 名	1,100 名	0 名	0.0%			
		入院	@ 86,917 円	@ 83,411 円	@ 3,506 円	4.2%	入院	@ 38,638 円	@ 35,966 円	@ 2,672 円	7.4%	入院	@ 64,500 円	@ 63,000 円	@ 1,500 円	2.4%			
	外来	@ 17,063 円	@ 17,700 円	@ ▲ 647 円	▲ 3.7%	外来	@ 15,219 円	@ 15,673 円	@ ▲ 454 円	▲ 2.9%	外来	@ 13,500 円	@ 13,000 円	@ 500 円	3.8%				

		若草病院						平塚病院					
		今年度計画		前年度計画		前年比増減		今年度計画		前年度計画		前年比増減	
内 訳	許可病床数	(199床)		(199床)				(114床)		(114床)			
	年間取扱患者延数	入院	68,620 名	68,620 名	0 名		入院	35,221 名	36,865 名	▲ 1,644 名			
		(稼働率94.5%)			(0.0%)		(稼働率84.2%)			(▲4.5%)			
	1日当り取扱患者数	外来	61,530 名	61,740 名	▲ 210 名	▲ 0.3%	外来	73,250 名	73,250 名	0 名		0.0%	
		入院	188 名	188 名	0 名	0.0%	入院	96 名	101 名	▲ 5 名	▲ 5.0%		
	1日当り診療単価	外来	210 名	211 名	▲ 1 名	▲ 0.5%	外来	250 名	250 名	0 名		0.0%	
		入院	@ 31,664 円	@ 31,205 円	@ 459 円	1.5%	入院	@ 34,000 円	@ 34,000 円	@ 0 円		0.0%	
	外来	@ 7,796 円	@ 7,978 円	@ ▲ 180 円	▲ 2.3%	外来	@ 6,800 円	@ 6,800 円	@ 0 円		0.0%		

5病院の収支予算概要

(単位:千円)

		横浜市東部病院				神奈川県病院				横浜市南部病院				若 草 病 院				平 塚 病 院													
		今年度予算額	前年度予算額	前年比増減		今年度予算額	前年度予算額	前年比増減		今年度予算額	前年度予算額	前年比増減		今年度予算額	前年度予算額	前年比増減		今年度予算額	前年度予算額	前年比増減											
収 入	医業収益①	20,569,856	19,817,403	752,453	3.8%	3,959,976	3,644,732	315,244	8.6%	14,351,664	13,410,658	941,006	7.0%	2,799,416	2,784,685	14,731	0.5%	1,796,534	1,850,509	▲	53,975	▲	2.9%								
	医業外収益	180,185	177,909	2,276	1.3%	33,044	35,885	▲	2,841	▲	7.9%	144,992	162,220	▲	17,228	▲	10.6%	42,014	37,034	4,980	13.4%	18,000	18,179	▲	179	▲	1.0%				
	特別利益	291,286	268,642	22,644	8.4%	0	0	0	—	104,609	112,946	▲	8,337	▲	7.4%	1,952	2,060	▲	108	▲	5.2%	4,053	4,349	▲	296	▲	6.8%				
	収入計(A)	21,041,327	20,263,954	777,373	3.8%	3,993,020	3,680,617	312,403	8.5%	14,601,265	13,685,824	915,441	6.7%	2,843,382	2,823,779	19,603	0.7%	1,818,587	1,873,037	▲	54,450	▲	2.9%								
支 出	給 与 費	9,773,494	9,621,810	151,684	1.6%	2,341,096	2,154,364	186,732	8.7%	6,925,164	6,342,988	582,176	9.2%	1,688,832	1,697,373	▲	8,541	▲	0.5%	1,113,119	1,159,692	▲	46,573	▲	4.0%						
	材 料 費	6,253,158	5,690,115	563,043	9.9%	615,592	537,589	78,003	14.5%	3,937,584	3,148,627	788,957	25.1%	503,500	481,005	22,495	4.7%	276,714	277,576	▲	862	▲	0.3%								
	(薬 品 費)	(2,577,267)	(2,550,395)	(26,872)	(1.1%)	(399,394)	(392,282)	(7,112)	(1.8%)	(2,191,117)	(1,777,977)	(413,140)	(23.2%)	(293,939)	(292,392)	(1,547)	(0.5%)	(116,774)	(120,283)	(▲3509)	(▲2.9%)										
	(診 材 費)	(3,365,482)	(2,968,732)	(396,750)	(13.4%)	(164,813)	(97,894)	(66,919)	(68.4%)	(1,638,511)	(1,265,903)	(372,608)	(29.4%)	(153,968)	(135,057)	(18,911)	(14.0%)	(134,740)	(135,087)	(▲347)	(▲0.3%)										
	経 費	1,672,903	1,660,695	12,208	0.7%	326,409	252,063	74,346	29.5%	984,781	969,757	15,024	1.5%	298,531	299,749	▲	1,218	▲	0.4%	157,430	155,148	2,282	1.5%								
	委 託 費	1,476,856	1,413,829	63,027	4.5%	375,405	358,704	16,701	4.7%	1,434,531	1,605,004	▲	170,473	▲	10.6%	199,780	182,616	17,164	9.4%	183,027	173,933	9,094	5.2%								
	研究研修費	146,027	77,215	68,812	89.1%	13,722	11,691	2,031	17.4%	38,878	48,197	▲	9,319	▲	19.3%	3,730	3,410	320	9.4%	4,340	3,930	410	10.4%								
	減価償却費	973,840	999,436	▲	2.6%	157,630	179,100	▲	21,470	▲	12.0%	712,200	701,317	10,883	1.6%	76,673	75,015	1,658	2.2%	48,000	46,104	1,896	4.1%								
	本・支部費	152,923	144,480	8,443	5.8%	26,516	24,263	2,253	9.3%	97,490	92,141	5,349	5.8%	24,592	24,378	214	0.9%	13,841	14,014	▲	173	▲	1.2%								
	医業費用計②	20,449,201	19,607,580	841,621	4.3%	3,856,370	3,517,774	338,596	9.6%	14,130,628	12,908,031	1,222,597	9.5%	2,795,638	2,763,546	32,092	1.2%	1,796,471	1,830,397	▲	33,926	▲	1.9%								
	医業外費用	374,968	382,995	▲	2.1%	111,496	108,907	2,589	2.4%	46,384	42,053	4,331	10.3%	39,346	50,340	▲	10,994	▲	21.8%	6,899	10,289	▲	3,390	▲	32.9%						
	特別損失	1,678	0	1,678	0.0%	22,958	3,224	19,734	0.0%	6,425	10,265	▲	3,840	▲	37.4%	3,500	2,000	1,500	75.0%	0	0	0	0.0%								
	支出計(B)	20,825,847	19,990,575	835,272	4.2%	3,990,824	3,629,905	360,919	9.9%	14,183,437	12,960,349	1,223,088	9.4%	2,838,484	2,815,886	22,598	0.8%	1,803,370	1,840,686	▲	37,316	▲	2.0%								
医業利益①－②		120,655	209,823	▲	89,168	▲	42.5%	103,606	126,958	▲	23,352	▲	18.4%	221,036	502,627	▲	281,591	▲	56.0%	3,778	21,139	▲	17,361	▲	82.1%	63	20,112	▲	20,049	▲	99.7%
当期利益(A)－(B)		215,480	273,379	▲	57,899	▲	21.2%	2,196	50,712	▲	48,516	▲	95.7%	417,828	725,475	▲	307,647	▲	42.4%	4,898	7,893	▲	2,995	▲	37.9%	15,217	32,351	▲	17,134	▲	53.0%

7. 福祉施設事業計画及び予算

超高齢社会を迎えて、医療・介護等を総合したサービスの提供ができるよう努める。

また、各施設の特徴を活かし、地域社会の中でのニーズに応えられる支援体制の充実を図る。

(1) 介護老人保健施設《湘南苑》

病院に併設されている介護老人保健施設のメリットを活かすと共に、施設内で実施している通所リハビリテーション、隣接する訪問看護ステーションとの連携を図り、質の高いトータルなケアに努める。

ア. 事業計画

事業種別	定員	年間取扱延数	前年度取扱延数	前年比増減
入所事業	54名	18,615 名	18,250 名	365 名
短期入所療養介護		1,095 名	1,460 名	▲ 365 名
通所リハビリテーション	30名	7,325 名	7,056 名	269 名

イ. 無料低額利用取扱見込延数

	定員	年間取扱延数	前年度取扱延数	前年比増減
無料低額利用取扱見込	54名	2,606 名	2,390 名	216 名

ウ. 湘南苑予算(総合)

(単位:千円)

収 入				支 出			
今年度予算		前年度予算	前年比増減	今年度予算		前年度予算	前年比増減
介護保健施設介護料収益	198,149	191,197	6,952	給 与 費	216,021	217,915	▲ 1,894
居宅介護料収益	90,420	89,894	526	材 料 費	31,565	30,787	778
利用者等利用料収益	43,488	43,912	▲ 424	経 費	30,310	27,700	2,610
その他の事業収益	107	184	▲ 77	委 託 費	29,684	29,684	0
受取利息配当金	3	5	▲ 2	研 修 費	500	500	0
利用者等外給食収益	0	0	0	減価償却費	9,228	9,914	▲ 686
その他の施設運営事業外収益	2,373	1,565	808	本・支部費	1,468	1,587	▲ 119
				一般施設運営事業外費用	1,532	2,165	▲ 633
				社会事業等費	300	300	0
特別利益	0	684	▲ 684	特別損失	0	0	0
当期損失	0	0	0	当期利益	13,932	6,889	7,043
収 入 計	334,540	327,441	7,099	支 出 計	334,540	327,441	7,099

(2) 特別養護老人ホーム《若草ホーム》

入所者の介護が重度化(平均介護度4.1)している状況にあっても、隣接する若草病院の協力を得て健康管理に努め、わかさ保育園の園児たちとのこやかな交流や、ボランティアの方々のご協力に支えられて色々な催しものなどで楽しい時間をつくり、おひとりおひとりが心穏やかに豊かな生活ができるように、心のこもった質の高いサービス提供に努める。消費税等で収益が厳しくなるが、その対策として設備投資を慎重に考え、また、物品などの節減に努めることで収益確保が出来る体勢を整えることで、利用者及びその家族に安定したサービスを提供していく。また課題であった看護師の人員体制を充実させ、看護体制や医療対応促進助成など前年度加算が計上できなかったものについて積極的に行なう。ディサービス事業は近隣事業所等と連携を図りながら取り扱い人数増加を図る。居宅介護支援事業については順調に取り扱い件数維持しているが、死亡等で契約が終わり、新しい契約締結までの期間を短くすることが課題であるが、その対策として近隣の事業所等と連携を図りながら取り扱い件数の最大の維持を図る。

ア. 事業計画

事業種別	定員	年間取扱延数	前年度取扱延数	前年比増減
入 所 事 業	70名	25,294 名	25,294 名	0 名
短 期 入 所 生 活 介 護 事 業	7名	1,660 名	1,660 名	0 名
デ イ サ ー ビ ス 事 業	1日15名	2,904 名	2,904 名	0 名
居 宅 介 護 支 援 事 業	—	706 名	733 名	▲ 27 名

イ. 若草ホーム収支予算(総合)

(単位:千円)

収 入				支 出					
今 年 度 予 算		前年度予算	前年比増減	今 年 度 予 算		前年度予算	前年比増減		
経常活動収入	介護保険収入	362,382	359,554	2,828	経常活動支出	人件費支出	243,730	235,597	8,133
	雑収入	470	450	20		直接介護支出	48,398	47,256	1,142
	受取利息配当金収入	63	50	13		一般管理支出	53,325	51,131	2,194
	寄付金収入	0	0	0		介護サービス利用料減免	0	0	0
	小計	362,915	360,054	2,861		小計	345,453	333,984	11,469
施設整備等収入	施設整備等補助金収入	2,460	0	2,460	施設整備等支出	器具及び備品取得支出	540	7,807	▲ 7,267
						車両運搬具取得支出	4,000	0	4,000
						その他固定資産取得	120	120	0
	小計	2,460	0	2,460		小計	4,660	7,927	▲ 3,267
財務活動収入			0	財務活動支出	その他の支出	2,000	2,000	0	
								0	
								0	
					小計	2,000	2,000	0	
	小計	0	0		0	予備費	2,500	2,500	0
収 入 合 計		365,375	360,054	5,321	支 出 合 計		354,613	346,411	8,202
当期資金収支差額合計		10,762	13,643	▲ 2,881					
前期末支払資金残高		104,509	90,866	13,643					
当期末支払資金残高		115,271	104,509	10,762					

(3) 保育施設《わかくさ保育園》

子どもの最善の利益を考慮し、生涯にわたる子どもの幸福に貢献するという理念のもとに、健康で明るく思いやりのある子ども、生活習慣を身に付け自主性のある子どもの成育を目標に、きめ細やかな保育サービスを提供しながら、子ども及び家庭のニーズに即した対応を行う。
また、職員の資質向上に向け、計画的な研修を実施する。

ア. 事業計画(年間開所日 292 日)

	年 間 取 扱 児 童 延 数						前年度	前年比増減
	0～1歳児	1～2歳児	2～3歳児	3～4歳児	4歳児以上	合 計		
定 員								
60名	1,752 名	3,504 名	4,088 名	3,504 名	6,716 名	19,564 名	19,045名	519名

イ. 事業予算

(単位:千円)

収 入				支 出					
今 年 度 予 算			前年度予算	前年比増減	今 年 度 予 算			前年度予算	前年比増減
經常活動收入	運営費収入	79,415	73,271	6,144	經常活動支出	人件費支出	86,021	84,743	1,278
	經常経費補助金収入	35,050	35,556	▲ 506		事務費支出	17,528	15,738	1,790
	利用料収入			0		事業費支出	15,340	12,770	2,570
	寄付金収入			0					
	特別保育事業収入	2,251	2,251	0					
	雑収入	2,293	2,293	0					
	小計	119,009	113,371	5,638		小計	118,889	113,251	5,638
施設整備等収入			0	0	施設整備等支出		120	120	0
財務活動収入			0	0	財務活動支出			0	0
					予 備 費			0	0
繰入金収入			0	0	繰入金支出			0	0
当期損失			0	0	当期利益			0	0
合 計		119,009	113,371	5,638	合 計		119,009	113,371	5,638

(4)障害福祉サービス事業所《金沢若草園》

平成26年度は、知的障害者の多機能型の施設として、より良いサービスの充実を図るとともに、第2のグループホームの設置を目指し、利用者の社会的ニーズに沿った支援の展開計画に積極的に取り組む。さらに、就労支援事業として平成25年度に計画したクリーニング事業の見直しを行い、より安定した効率的な事業の運営を目指すとともに、利用者の社会的経済活動への積極的な参画と、自立へ向けて就労支援の充実に邁進する。
本年度の事業計画及び予算は次のとおり。

ア. 事業計画 (通所年間開園日 313日)

単位:人

単位:人

サービスの種類			定員		年間利用延数		
			今年度	前年度	今年度	前年度	前年比増減
障害福祉サービス事業所	生活介護		12	6	3,915	1,827	2,088
	就労移行支援		6	15	1,827	5,220	▲ 3,393
	就労継続支援B型		32	29	10,179	10,179	0
	就労継続支援A型		10	10	2,349	1,044	1,305
	短期入所(単独型)		6	6	1,572	1,572	0
	共同生活援助	グループホーム	6	6	2,190	2,190	0
		第2グループホーム	6	0	726	0	726
	合計		78	72	22,758	22,032	726

*共同生活援助事業は、第2グループホームの運営設置(定員6名)を平成26年12月開所へ向けて、横浜市へ申請中。

*平成26年度より、共同生活介護事業は共同生活援助事業へ一本化となる。

イ. 金沢若草園収支予算(総合)

(単位:千円)

区 分	収 入				支 出			
	今 年 度 予 算		前年度予算	前年比増減	今 年 度 予 算		前年度予算	前年比増減
就労支援事業活動の部	就労支援事業収入	75,321	80,000	▲ 4,679	就労支援事業支出	75,321	80,000	▲ 4,679
	収入計	75,321	80,000	▲ 4,679	支出計	75,321	80,000	▲ 4,679
	就労支援事業活動資金収支差額	0	0	0		0	0	0
福祉事業活動の部	利用料収入	119,234	117,036	2,198	人件費	108,486	101,566	6,920
	利用料収入激変緩和加算	0	0	0	事務費	23,285	23,674	▲ 389
	利用者負担金収入	6,528	5,565	963	事業費	13,433	12,363	1,070
	横浜市他助成金収入	11,531	10,763	768				
	経常経費補助金収入	7,344	3,626	3,718				
	補助金収入(神奈川県施設整備推進費)	0	0	0				
	地代収入	0	0	0				
	寄付金収入	0	0	0				
	雑収入	833	611	222				
	受取利息配当金収入	22	122	▲ 100				
	収入計	145,492	137,723	7,769	支出計	145,204	137,603	7,601
福祉事業活動資金収支差額	▲ 288	▲ 120	▲ 168		0	0	0	
施設整備等の部	施設整備等国庫補助金収入	0	0	0	施設整備等支出(建物)	0	0	0
					施設整備等支出(固定資産)	300	120	180
	収入計	0	0	0	支出計	300	120	180
施設設備等資金収支差額	0	0	0		▲ 300	▲ 120	▲ 180	
財務活動の部	施設整備借入金収入	0	0	0	借入金元金償還金支出	10,668	10,848	▲ 180
	借入金元金償還補助金収入	10,680	10,848	▲ 168	退職積立預金取崩支出	0	600	▲ 600
	退職積立預金取崩収入	0	600	▲ 600				
	収入計	10,680	11,448	▲ 768	支出計	10,668	11,448	▲ 780
財務活動資金収支差額	▲ 12	0	▲ 12		0	0	0	
収入合計	231,493	229,171	2,322	支 出 合 計	231,493	229,171	2,322	
当期資金収支差額合計	0	0	0					
前期末支払資金残高	0	0	0					
当期末支払資金残高	0	0	0					

(5)重症心身障害児(者)施設サルビア

基本方針

重症心身障害児(者)(以下 重症児者)に対し、生活介護を中心とした施設ではなく、総合病院の中にある特徴を生かした医療型介護ならびに治療を行える施設とする。

○重症児者の中でも特に超重症児者(重症児スコア25以上)、準超重症児者(重症児スコア10以上)を積極的に受け入れ、必要な医療・生活介護を行う。

○長期入所者に対しては、濃厚な医療介入が必要な者に対しても医療のみならず安定した質の高い生活の場を提供することに努める。

○在宅重症児者の急性疾患加療にあたり、院内他科と協力し質の高い医療の提供に努める。

○家族のレスパイトケア等に対し短期入所を受け入れ、重症児者ならびにその家族の健康を支援する。

○横浜療育医療センター、神奈川県立こども医療センターなど市内入所施設との連携を強化し、役割分担を図る。

○外来診療は近隣からの紹介制とし、継続診療はかかりつけ医へ移行し、地域医療連携を図る。

○重症児者の特性を踏まえ、複数科の連携がないと不可能な処置(胃瘻増設など)を、在宅重症児者や他施設入所者に対して提供する。

ア. 事業計画

事業種別	サービス種別	定員	年間取扱延数	前 年 度	前年比増減
障害児入所施設	医療型障害児入所施設事業	40名	4,745 名	4,745 名	0 名
障害福祉サービス	療養介護事業		7,300 名	7,300 名	0 名
	短期入所事業	4名	949 名	876 名	73 名

イ. 重症心身障害児(者)施設サルビア収支予算

(単位:千円)

収 入	今年度予算	前年度予算	前年比増減	支 出	今年度予算	前年度予算	前年比増減
医業収入	407,990	387,345	20,645	事務費支出	442,503	413,447	29,056
(入院収入)	(402,888)	(382,173)	(20,715)	(人件費)	(395,252)	(358,384)	(36,868)
(外来収入)	(5,102)	(5,172)	(▲70)	(業務委託費)	(21,683)	(20,360)	(1,323)
措置費収入	31,205	26,901	4,304	(その他)	(25,568)	(34,703)	(▲9,135)
支援費収入	100,197	101,227	▲ 1,030	事業費支出	78,603	65,033	13,570
補助金収入	145,878	143,090	2,788	元利償還金	223	223	0
利用者負担金収入	3,083	3,177	▲ 94				
寄付金収入	0	0	0				
収 入 計	688,353	661,740	26,613	支 出 計	521,329	478,703	42,626
収 支 差 額	167,024	183,037					

8. 居宅介護サービス施設事業計画及び予算

- (1) 横浜市菅田地域ケアプラザ
- (2) 横浜市港南台地域ケアプラザ
- (3) 横浜市六浦地域ケアプラザ
- (4) 横浜市能見台地域ケアプラザ
- (5) 平塚市袖ヶ浜デイサービスセンター

デイサービス事業、居宅介護支援事業、地域包括支援センター事業等に取り組む中で、高齢者等が住み慣れた地域社会で安心して生活できるよう、地域に密着した総合的な支援サービスを積極的に展開していく。

ア. 事業計画

施設名 事業名	横浜市菅田地域ケアプラザ				横浜市港南台地域ケアプラザ				横浜市六浦地域ケアプラザ			
	定員等	取扱延数	前年度	前年比増減	定員等	取扱延数	前年度	前年比増減	定員等	取扱延数	前年度	前年比増減
デイサービス事業	55名	11,236名	11,008名	228	25名	6,320名	6,300名	20	40名	11,500名	11,500名	0
居宅介護支援事業	—	1,476名	1,596名	▲120	—	1,590名	1,380名	210	—	1,500名	1,800名	▲300
地域包括支援センター	—	3,616名	3,600名	16	—	5,710名	5,718名	▲8	—	4,200名	4,100名	100
地域交流事業	—	5,900名	5,800名	100	—	7,500名	6,000名	1,500	—	5,500名	5,000名	500
ホール等貸館事業	随時	13,500名	12,500名	1,000	随時	16,800名	16,000名	800	随時	15,000名	15,000名	0

施設名 事業名	横浜市能見台地域ケアプラザ				平塚市市袖ヶ浜デイサービスセンター			
	定員等	取扱延数	前年度	前年比増減	定員等	取扱延数	前年度	前年比増減
デイサービス事業	40名	11,172名	11,172名	0	25名	6,534名	6,527名	7
居宅介護支援事業	—	1,992名	1,992名	0				
地域包括支援センター	—	4,092名	4,092名	0				
地域交流事業	—	6,000名	6,000名	0				
ホール等貸館事業	随時	12,000名	12,000名	0				

イ. 居宅介護サービス施設予算(総合)

(単位:千円)

施設名 科 目		横浜市菅田地域ケアプラザ			横浜市港南台地域ケアプラザ			横浜市六浦地域ケアプラザ			横浜市能見台地域ケアプラザ			平塚市袖ヶ浜デイサービスセンター		
		今年度予算	前年度予算	前年比増減	今年度予算	前年度予算	前年比増減	今年度予算	前年度予算	前年比増減	今年度予算	前年度予算	前年比増減	今年度予算	前年度予算	前年比増減
収 入	居宅介護料収入	89,876	87,711	2,165	55,680	50,500	5,180	89,994	86,666	3,328	82,180	85,036	▲ 2,856	57,464	55,761	1,703
	介護予防居宅介護料収入	12,447	9,745	2,702	5,648	5,316	332	10,564	14,007	▲ 3,443	14,949	14,930	19	4,062	4,062	0
	居宅介護支援介護料収入	20,936	19,956	980	19,784	18,840	944	22,919	17,392	5,527	27,463	27,463	0	0	0	0
	介護予防支援料収入	4,148	3,701	447	3,072	3,012	60	10,474	11,400	▲ 926	8,541	8,541	0	0	0	0
	利用者等利用料収入	11,369	12,611	▲ 1,242	4,320	4,440	▲ 120	7,516	10,625	▲ 3,109	8,379	8,379	0	4,574	4,569	5
	その他の事業収入	50,572	50,475	97	47,605	46,966	639	43,102	43,589	▲ 487	44,812	44,605	207	6,329	6,350	▲ 21
	寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雑 収 入	0	0	0	0	0	0	4,250	4,080	170	1,780	1,780	0	330	330	0
	施設設備等収入	1,388	4,548	▲ 3,160	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収入計		190,736	188,747	1,989	136,109	129,074	7,035	188,819	187,759	1,060	188,104	190,734	▲ 2,630	72,759	71,072	1,687
支 出	人件費支出	144,146	139,778	4,368	101,719	94,786	6,933	134,580	137,055	▲ 2,475	138,849	139,819	▲ 970	41,162	40,995	167
	事 務 費	18,392	20,008	▲ 1,614	20,840	21,634	▲ 794	18,196	17,180	1,016	22,889	21,995	894	12,851	12,551	300
	事 業 費	24,807	24,415	392	11,430	10,525	905	33,988	31,243	2,745	25,028	23,424	1,604	13,565	13,215	350
	借入金利息支出		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設設備等支出	1,388	4,548	▲ 3,160	120	0	120	0	0	0	120	0	120	0	0	0
	予 備 費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出計	188,733	188,747	▲ 14	134,109	126,945	7,164	186,764	185,478	1,286	186,886	185,238	1,648	67,578	66,761	817
収 支 差 額		2,003	0	2,003	2,000	2,129	▲ 129	2,055	2,281	▲ 226	1,218	5,496	▲ 4,278	5,181	4,311	870

9. 訪問看護施設事業計画及び予算

- (1) かながわ訪問看護ステーション
- (2) 南部訪問看護ステーション
- (3) わかくさ訪問看護ステーション
- (4) 平塚訪問看護ステーション

主治医の指示のもとに看護師が在宅療養者・高齢者宅を訪問して、患者の状況に応じた適切な看護や介護を行うとともに、家庭でも安心して生活が出来るよう指導し、家族の介護負担の軽減を支援する。

ア. 事業計画

施設名 事業名	かながわ訪問看護ステーション			南部訪問看護ステーション			わかくさ訪問看護ステーション		
	取扱延数	前年度	前年比増減	取扱延数	前年度	前年比増減	取扱延数	前年度	前年比増減
訪問看護事業	10,104 名	10,008 名	96 名	16,617 名	15,617 名	1,000 名	6,490 名	6,290 名	200 名
居宅介護支援事業	720 名	324 名	396 名	1,766 名	1,428 名	338 名			
老人デイサービス事業				1,200 名	1,200 名	0 名			

施設名 事業名	平塚訪問看護ステーション		
	取扱延数	前年度	前年比増減
訪問看護事業	2,940 名	2,940 名	0 名
居宅介護支援事業	1,260 名	1,260 名	0 名

イ. 指定訪問看護ステーション予算(総合)

(単位:千円)

科 目		かながわ訪問看護ステーション			南部訪問看護ステーション			わかぐさ訪問看護ステーション			平塚訪問看護ステーション		
		今年度	前年度	前年比増減	今年度	前年度	前年比増減	今年度	前年度	前年比増減	今年度	前年度	前年比増減
収 入	介護保険収入	84,877	74,157	10,720	168,989	160,108	8,881	45,674	46,630	▲ 956	44,411	42,838	1,573
	老人訪問看護事業収入	21,888	23,572	▲ 1,684	13,718	15,449	▲ 1,731	8,360	7,400	960	1,997	2,557	▲ 560
	訪問看護療養費収入	2,995	538	2,457	29,973	20,621	9,352	8,360	7,400	960	1,630	1,912	▲ 282
	老人訪問看護利用料収入	771	908	▲ 137	1,687	1,838	▲ 151	700	500	200	271	353	▲ 82
	訪問看護利用料収入	1,187	912	275	2,353	1,914	439	700	500	200	747	888	▲ 141
	その他の事業収入	0	0	0	119	0	119	0	0	0	0	240	▲ 240
	事業外収入	22	24	▲ 2	285	209	76	38	28	10	82	82	0
	特別利益	0	0	0	660	1,200	▲ 540	0	25	▲ 25	44	44	0
収 入 計		111,740	100,111	11,629	217,784	201,339	16,445	63,832	62,483	1,349	49,182	48,914	268
支 出	給 与 費	94,310	81,381	12,929	184,236	168,605	15,631	50,380	50,709	▲ 329	41,448	41,080	368
	材 料 費	112	0	112	0	0	0	250	200	50	31	31	0
	経 費	11,538	7,578	3,960	23,604	24,677	▲ 1,073	5,655	5,581	74	3,068	2,486	582
	委 託 費	566	491	75	821	831	▲ 10	1,387	1,452	▲ 65	0	0	0
	研 修 費	200	200	0	105	100	5	190	155	35	120	100	20
	減価償却費	0	61	▲ 61	72	1,909	▲ 1,837	800	800	0	182	348	▲ 166
	本・支部費	328	313	15	590	495	95	198	165	33	129	125	4
	消費税負担金	93	44	49	180	180	0	32	30	2	9	9	0
	事業外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支 出 計		107,147	90,068	17,079	209,608	196,797	12,811	58,892	59,092	▲ 200	44,987	44,179	808
収支差額		4,593	10,043	▲ 5,450	8,176	4,542	3,634	4,940	3,391	1,549	4,195	4,735	▲ 540

10. 平成26年度 神奈川県済生会予算総括表

(単位:千円)

区 分	総予算額	一 般 会 計			特 別 会 計		前年度予算額	前年比増減
		支部事務局会計	病院会計	福祉施設会計	公益事業会計	支部特別会計		
歳 入	47,531,726	209,370	44,297,581	2,515,297	442,538	66,940	45,458,673	2,073,053
歳 出	46,604,893	185,443	43,641,962	2,311,122	420,634	45,732	44,083,993	2,520,900
当期利益	926,833	23,927	655,619	204,175	21,904	21,208	1,374,680	▲ 447,847

《施設別内訳表》

(単位:千円)

	支部事務局	一 般 会 計											
		病 院						福祉施設(老健・特養・保育・障害者支援・重心)					
		横浜市東部病院	神奈川県病院	横浜市南部病院	若草病院	平塚病院	病院計	湘南苑	若草ホーム	保育園	若草園	重症心身障害児 (者)施設サルビア	福祉施設計①
歳 入	209,370	21,041,327	3,993,020	14,601,265	2,843,382	1,818,587	44,297,581	334,540	365,375	119,009	231,493	688,353	1,738,770
歳 出	185,443	20,825,847	3,990,824	14,183,437	2,838,484	1,803,370	43,641,962	320,608	354,613	119,009	231,493	521,329	1,547,052
当期利益	23,927	215,480	2,196	417,828	4,898	15,217	655,619	13,932	10,762	0	0	167,024	191,718

	一 般 会 計						特 別 会 計							合 計	
	福祉施設(ケアプラザ・デイサービスセンター)						公益事業(訪問看護ステーション)					支部特別会計 (財政調整基金)	支部特別会計 (職員医療共済)		支部特別会計 (収益事業)
	菅 田	港南台	六 浦	能見台	袖ヶ浜	福祉施設計②	かながわ	南 部	わかくさ	平 塚	公益事業計				
歳 入	190,736	136,109	188,819	188,104	72,759	776,527	111,740	217,784	63,832	49,182	442,538	17,450	47,710	1,780	47,531,726
歳 出	188,733	134,109	186,764	186,886	67,578	764,070	107,147	209,608	58,892	44,987	420,634	7	44,720	1,005	46,604,893
当期利益	2,003	2,000	2,055	1,218	5,181	12,457	4,593	8,176	4,940	4,195	21,904	17,443	2,990	775	926,833